



## 関西国際空港及び大阪国際空港が空港カーボン認証レベル3を取得 同時に、神戸空港がレベル2を取得

関西エアポートグループは、関西国際空港と大阪国際空港において、2016年に日本で初めて空港カーボン認証※プログラムのレベル2を取得し、このたび、2018年12月6日にはレベル2からレベル3へアップグレードしました。また、神戸空港においても、新たにレベル2を取得しましたのでお知らせいたします。

関西3空港（関西国際空港、大阪国際空港、神戸空港）におきましては、2018年4月に策定された新環境計画“One エコエアポート計画”に定める4つの方針「気候変動への対応」「資源循環」「周辺環境との共生」「環境マネジメント」のもとに、環境への負荷を低減するための様々な活動を行っております。今回の認証取得はこれらの活動を通して、空港から排出されるCO<sub>2</sub>削減の取り組みが評価されたものです。

関西エアポートグループでは、今後も空港関連事業者のみなさまと連携し、地域コミュニケーションを大切にするとともに、環境負荷低減に向けた取り組みを推進し、周辺環境と共生した空港をめざしてまいります。

### ※空港カーボン認証とは

空港カーボン認証（ACA：Airport Carbon Accreditation）は、2009年に空港会社の国際機関である国際空港評議会（ACI：Airports Council International）によって作られたプログラムであり、認証空港は全世界へ広がり、2018年11月時点で249空港にのぼります。

空港向けの国際カーボン管理基準としては唯一のものであり、各レベルの概要は以下のとおりです。



#### レベル1（Mapping）

排出量削減への環境宣言を公表し、空港管理会社が排出したCO<sub>2</sub>を算定



#### レベル2（Reduction）

CO<sub>2</sub>排出量削減目標を定め、目標達成のための計画に基づき、空港管理会社が排出したCO<sub>2</sub>の削減を実証



#### レベル3（Optimisation）

空港関連事業者が排出したCO<sub>2</sub>も含めて算定し、空港全体のCO<sub>2</sub>排出量削減計画を策定



#### レベル3+（Neutrality）

空港会社の管理下にあるCO<sub>2</sub>排出量をオフセットし、カーボンニュートラルを達成



### 【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社  
企画・管理部 広報・ブランディングチーム  
Tel：072-455-2201



関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports (ヴァンシ・エアポート) を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港 (KIX) および大阪国際空港 (ITAMI) の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港 (KOBE) の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: [www.kansai-airports.co.jp/](http://www.kansai-airports.co.jp/) をご参照ください。

#### 関西エアポート株式会社 (関西国際空港および大阪国際空港の運営)

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号 (登記上)	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% <sup>1</sup>
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO エマヌエル・ムノント		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

#### 関西エアポート神戸株式会社 (神戸空港の運営)

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO エマヌエル・ムノント		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



#### オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界38カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、44空港の開発・運営を行っています。同社の空港ネットワークを構成するフランス、ポルトガル (リスボンのハブ空港含む)、イギリス、スウェーデン、カンボジア、日本、アメリカ合衆国、ドミニカ共和国、コスタリカ、チリ、そしてブラジルの空港には、合計で250社を超える航空会社が就航し、2017年の旅客者数は1億8,000万人にのびます。

ヴァンシ・エアポートは総合インテグレーターとして、1万2,000人のスタッフの専門知識と経験を駆使し、空港の開発・資金調達・建設・運営に当たっています。またその投資力、国際ネットワーク、ノウハウを生かして既存空港の運営と機能を最適化し、施設拡充や新規建設を行っています。

2017年の連結売上高は14億ユーロ、グループ全体の売上高は32億ユーロ (関連会社含む) に達しました。

詳細は [www.vinci-airports.com](http://www.vinci-airports.com) をご覧ください。

<sup>1</sup> 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構